

令和6年度

介護実習Ⅰの手引き
第2学年

氏名

福井県立奥越明成高校 生活福祉科 福祉コース
(電話) 0779-66-4610

目 次

I. 介護実習について	・ ・ ・ ・ 1
II. 実習方法および内容	・ ・ 3
III. 実習記録と評価	・ ・ 5
IV. 実習生の心得と注意	・ ・ 6
V. 実習上の注意	・ ・ 6

(資料 1)	施設実習記録
(資料 2)	実習項目確認表
(資料 3)	介護実習 I 自己評価表
(資料 4)	介護実習 I 施設評価表
(資料 5)	評価の目安
(資料 6)	レクリエーション計画用紙
(資料 7)	レクリエーション進行原稿用紙
(資料 8)	アセスメントシート
(資料 9)	第 2 学年施設介護実習計画表

I. 介護実習について

1. 目標

- ①多様な場における介護及び支援の適切な実践に主体的かつ協働的に取り組む。
- ②利用者や家族との関わりを通して、実践的なコミュニケーション技術や介護技術を高める。
- ③介護の場での多職種との協働の中で、介護従事者としての役割や職業倫理を理解する。

2. 実習内容

- (1) 実習施設見学及び施設職員のオリエンテーション
- (2) 現場実習
 - ・施設実習

3. 実習施設

・介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

施設名	定員	住所	電話番号
福井県済生会 聖和園	120	大野市蕨生 158-35	(0779)66-3307
大野和光園	100	大野市篠座 79-11	(0779)66-2551
さつき苑	80	勝山市片瀬 15-22	(0779)87-7711
さくら荘	110	勝山市北谷町中尾 13-16	(0779)83-1331

・介護老人保健施設

施設名	定員	住所	電話番号
福井勝山総合病院 附属介護老人保健施設	100	勝山市長山町 2-6-21	(0779)87-3100

・養護老人ホーム

施設名	定員	住所	電話番号
大野和光園	80	大野市篠座 79-11	(0779)66-2551

・障害者支援施設

施設名	定員	住所	電話番号
希望園	80	大野市篠座 79-53	(0779)66-1133
むつみ園	40	大野市篠座 16-13	(0779)65-3761
九頭竜ワークショップ	上野の郷	80	勝山市平泉寺町岩ヶ野 42-61 (0779)87-3003
	いずみの郷	40	
	しずかの郷	35	

・救護施設

施設名	定員	住所	電話番号
大野荘	130	大野市篠座 17-23	(0779)66-3320

【地域密着型サービス】

・介護老人福祉施設

施設名	定員	住所	電話番号
大野和光園 和らぎの里	29	大野市春日 3丁目 1718	(0779)66-3011

4. 実習の指導体制

各施設職員の指導・監督の下に実習する。

Ⅱ. 実習方法および内容

1. 実習日、実習グループと配置

<実習日> I期 : 7月9日(火)～10日(水)、7月16日(火)～18日(木)
 II期 : 8月20日(火)～23日(金)、8月26日(月)～27日(火)
 III期 : 11月25日(金)、10月28日(月)～11月1日(金)

計17日間

<実習グループと配置> 別紙 第2学年介護実習計画表のとおり

2. 実習日程(基本時間 8時間授業)

8:15～	集合・健康観察・更衣
8:30～15:10	実習(昼食・休憩 12:40～13:20)
15:10～16:00	実習記録・実習課題記録・実習項目確認表
(I期初日・各期最終日 9時間授業)	
8:30～16:00	実習(昼食・休憩 12:40～13:20)
16:00～16:50	反省会・実習記録・自己評価表
16:50～	更衣・後始末・帰宅

(I期) 実習施設 () 日程

(基本時間)	(最終日)
: ~ 集合・健康観察・更衣	
: ~ : 実習(昼食・休憩 : ~ :)	: ~ : 実習(昼食・休憩 : ~ :)
: ~ : 実習記録・実習課題記録 ・実習項目確認表	: ~ : 反省会・実習記録・自己評価表 : ~ 更衣・後始末・帰宅

(II期) 実習施設 () 日程

(基本時間)	(最終日)
: ~ 集合・健康観察・更衣	
: ~ : 実習(昼食・休憩 : ~ :)	: ~ : 実習(昼食・休憩 : ~ :)
: ~ : 実習記録・実習課題記録 ・実習項目確認表	: ~ : 反省会・実習記録・自己評価表 : ~ 更衣・後始末・帰宅

(III期) 実習施設 () 日程

(基本時間)	(最終日)
: ~ 集合・健康観察・更衣	
: ~ : 実習(昼食・休憩 : ~ :)	: ~ : 実習(昼食・休憩 : ~ :)
: ~ : 実習記録・実習課題記録 ・実習項目確認表	: ~ : 反省会・実習記録・自己評価表 : ~ 更衣・後始末・帰宅

3. 実習オリエンテーション

(1) 実習施設見学及び施設職員オリエンテーション：各実習施設の初日に実施

<ねらい>

施設の雰囲気慣れ、実習についてのイメージアップを図ると共に、事前学習の内容を深めて実習への自覚を高める。

<内 容>

- ・施設の概要
- ・建物の構造、配置、設備など
- ・利用者の状況（生活の様子）および利用者の接し方と注意点
- ・実習方法の打ち合わせ
- ・控え室の使い方
- ・その他（実習生からの質問）

4. 実習項目

活動	移動・移乗介助、食事介助・水分補給介助、排泄介助、入浴・清潔介助 身じたく介助（洗面・整髪・口腔ケア・着脱等） 睡眠・医療健康状態観察（バイタルチェック・状態観察など）
参加	行事参加・外出介助・コミュニケーション
環境因子	対人関係調整、環境整備
その他	申し送り参加、カンファレンス・学習会等の参加
実習課題	レクリエーションの計画実施（Ⅰ期・Ⅱ期）
	利用者のアセスメント（Ⅲ期）

5. 準備物

- ① メモ用手帳、筆記用具、実習ファイル一式
- ② 実習服、手ふきタオル、エプロン（三角巾）：食事介助・調理
- ③ 入浴介助時の着替え（Tシャツ、短パン、下着の替え、タオル）
- ④ 昼食、飲み物
- ⑤ ガウン、実習用ズック、外ズック

*Ⅰ，Ⅱ期は、レクリエーション物品

6. 反省会：各実習施設の最終日に実施（初日は必要に応じて実施）

<内 容>

- ・実習の反省や感想・疑問点について
- ・実習指導者からの助言と評価

Ⅲ. 実習記録と評価

1. 実習記録（資料1）

<目的>

- ①実習を振り返りその成果を総括的に整理することによって、自己学習を深め、自己の向上をはかる。
- ②実習指導者は生徒の実習状況を把握して、助言・指導の資料にする。

<記録内容>

- ・今日の目標
- ・1日の流れ
- ・実習項目における利用者の状況・利用者への関わりと気づき及び反省や課題
- ・目標の評価
- ・実習態度評価
- ・疑問点（介護の内容について実習中に質問したこととその指導・助言内容を記入する）
- ・1日の感想と反省
- ・次回の目標

<提出と返却>

- ①実習終了後、記録を書き実習責任者に提出する。
- ②提出した記録は、実習責任者の点検後、生徒に返却する。

2. 実習項目確認表（資料2）

<目的>

その日実施した実習項目を各自確認し、次の実習に生かす。

3. 評価

<目的>

- ①生徒は自分の実習態度を振り返り、学習意欲や進歩の状況を客観的に判断して自己理解を深めるものとする。
- ②実習責任者は実習目標に基づいて、生徒の実習意欲や態度及び変化の状況を把握し、評価する。

<評価の種類>

- ①生徒の自己評価（資料3）
 - ・提出—実習最終日に、実習記録とともに実習責任者に提出する。
- ②実習施設の評価（資料4）
- ③評価表の目安（資料5）

IV. 実習生の心得

<1> 利用者の個人情報保護について

- ①個人情報は個人の権利利益を保護することを目的とするため、慎重にかつ適正に取り扱われるべきものであることを理解する。
- ②福祉専門職の職業倫理としての秘密保持義務（個人情報保護）は、実習生も同様であることを理解する。
- ③秘密保持義務は実習中だけでなく、在学中、卒業後、中途退学後も守る。
- ④記録は個人情報に配慮し、利用者名はイニシャルで記入し、内容等にも配慮する。
- ⑤記録はファイルに綴じて責任を持って保管し、他には漏らさない。
また、実習後は、学校に提出し、学校が責任を持って保管処理する。
- ⑥実習中のメモは責任を持って保管し、実習後はシュレッダー等にかけて処理する。

<2> 健康管理、感染予防について

- ①家で検温し、健康観察表に記入し、職員の点検を受ける。
- ②具合が悪くなった時は、職員や引率教員に連絡し、休養・早退の指示を受ける。
- ③感染予防のため、しっかり手洗いを行う。

<3> 実習生の心構え

- ①目標を持ち、積極的に行動する。
- ②人間同志の「出会い」の場として、実習の機会を大切にす。
- ③利用者と一緒に生活しながら、ふれ合いを持ち、その生活を理解する。
- ④利用者を尊重し、思いやりのある言動で公平に接する。
- ⑤職員には節度ある態度で接し、交流を大切にしながら指導を受ける。

V. 実習上の注意

- ①挨拶・自己紹介は、大きい声で明るく丁寧に行う。
- ②実習中、分からないことは独断で処理せず職員の指示を受ける。
- ③実習中のけがおよび物品の破損は、職員と担当教員にすみやかに連絡する。
- ④誤解があるといけないので利用者との物品やお金の授受はしない。
- ⑤実習先に迷惑をかけないように貴重品は持っていかないこと。
- ⑥携帯電話は、電源を切ってカバンの中に入れておく。
- ⑦更衣室はきれいに使用し、後始末や清掃はきちんと行う。
- ⑧実習中の無断外出は禁止する。
- ⑨病気、その他やむを得ず欠席、遅刻する場合は、集合時間までに施設と学校に連絡する。
- ⑩遅刻・早退・欠席した場合は、再実習する。